

◆ 【日本体育協会総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン】

◆ 第14号 平成18年11月20日発行

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。

配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

*****☆目次☆*****

【1】『巻頭言』 ～「総合型クラブ」に学生パワーの登用を！～（岡尾恵市）

【2】『わが街クラブの人気メニュー』（9,500人の町編）

～NPO 法人クラブ Joy (富山県)～

【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント(その11)』暴力とセクハラ

【４】『指定クラブ訪問記』 ピースふあいぶるクラブ（埼玉県熊谷市）

【5】『総合型クラブの強みを生かした指定管理者を考える』

【1】『巻頭言』～「総合型地域スポーツクラブ」に学生パワーの登用を！～

■■■■■

■ 2年半前、大学の定年退職を契機に、育成アドバイザーの任務をお引き受けして京都府下各市町村の「育成指定クラブ」に出向き、長年の体育・スポーツ界で蓄積してきた知識と経験を活かして巡回にあたっていますが、ほとんどのクラブの活動のなかで、残念ながら子どもたちや成年・壮年・高齢の方の活発な活動の実態に比べて、「若者」の姿が見かけられません。中・高校生には学校におけるスポーツ種目の「部活」があり、多くの生徒たちは活動に精を出しているのは理解出来ますが、大学生または同年代の青年の姿が全く見えないのです。

■私の大学には約3万人の学生が在籍していますが、「体育会」運動部に所属する学生は、その10%にも満たない二千数百名で、残りの大半は「スポーツ好き」であるものの、日常的なスポーツ活動をほとんど行っていないのが実態です。

しかし、彼らの多くは中・高校時代を通じて「部活」の経験者で、折角、スポーツ活動の習慣や高いレベルのスポーツ技能を持ちながら、それを自らの日常生活を豊かにする術（すべ）にしていらないだけでなく、社会的に還元することなど全くしていないのが実情です。

■昨年秋、京都の育成指定クラブ、「ふるさとSC」主催の小学生の陸上教室に関西学生で優勝した学生など男女4名に教室活動の補助に当たらせてところ、約80名の子どもたちが目を輝かせ、いきいきとグラウンドを走り回り、終了後も学生たちを追いかけていく姿に接し、クラブ運営の関係者からも感激のお言葉をいただきました。

私は毎年、2000年に「ニュースステーション」で放映された「WASEDA club 2000」を一般教育の授業で見せて感想を書かせていますが、「自分も地元でこうしたボランティアの活動をしてみたい」と述べるものが常に7割ほどいます。

■現在大学で学ぶ数百万におよぶ「学生」や地元の「若者」の活力を、今、国民的な課題のひとつとなっている「総合型」の活動の中に活かして、「幼・壮・老」中心のクラブからいち早く脱却してほしいと願って、教壇に立ちながらクラブ巡回に精を出しているところです。

(岡尾恵市 京都府クラブ育成アドバイザー)

▽「WASEDA club 2000」(所沢市西地区総合型地域スポーツクラブ)

HPはこちらから▽

<http://yume.st/club2000/>

【2】『わが街クラブの人気メニュー』(9,500人の町編)

～NP0 法人クラブ Joy(富山県)～



◆現在、920名に会員が増え、特に40歳から60歳女性が多く、フィットネス教室が大変人気です。家事を終えた主婦の方が多く参加し、ロコミで広まりました。幼稚園児(年長)から一般対象の陸上教室(ランナーズ Joy)には、地元中学校の陸上競技部の生徒も参加しています。地域の指導者や先輩、小学生などいろいろな人と交流しながら楽しく走れるところがいいそうです。県の中学駅伝では、ランナーズ Joy をはじめ、地域の応援が活躍の後押しとなり、全国大会への出場も決まっています。

(白倉香理 富山県広域スポーツセンター)

▼文章全文と写真はここから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=73>

▽NP0 法人クラブ JoyHP はここから▽

<http://clubjoy.exblog.jp/i4>

【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント(その11)』 暴力とセクハラ

■Q；スポーツ指導における体罰とセクシャルハラスメントの留意点について教えてください。

A；体罰とセクシャルハラスメントは、縦社会の構造にはびこる立派な犯罪です。スポーツの現場でも他人事ではありません。上下関係が生み出す問題として、当然、対処していかなければなりません。クラブとして正しい知識を持って指導にあたることができるよう注意が必要です。

(行政書士 谷塚 哲)

▼文章全文はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=74>

【4】『指定クラブ訪問記』 ピースふあいぶるクラブ（埼玉県熊谷市）

◆◆◆◆◆

◆なぜ、立ち上げから約1年半という短期間で、積極的にクラブ運営に携わる多くの「人材」を集めることができたのか？人を引きつける「魅力ある場」を築いたことが鍵となりました。この場は、個々の役割が明確で、お互いが助け合おうという姿勢があり、選択の自由も保証し、人にやりがいや活力を与えてくれます。

ピースには、もう一つ他にない特徴ある活動があります。それは、「新川菜園村」の取り組みで、「幻の村」をクラブが復活させたのです。荒れ放題の空き地や竹林の整備を行い、現在では、子ども達の遊びの森ができツリーハウスもつきました。

(報告：加藤裕之 埼玉県クラブ育成アドバイザー)

▼文章全文と写真ははこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=75>

【5】『総合型クラブの強みを生かした指定管理者を考える』

■■■■■

■「総合型クラブはあらゆる可能性を秘めている」という言葉をよく耳にします。実際、地域住民が自主的にスポーツ活動をプランニングし、自立した活動をする訳ですから、住民の社会参加が増加し、地域の活性化につながるなど、あらゆる可能性を秘めていることは関わっておられる皆様が実感されていることと思います。また、クラブの関係者や会員の中に、その地域の様々な分野での人材が存在していることは大きな強みとなることもあります。

(小松史嗣 みやぎ広域スポーツセンター)

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=76>

◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

Copyright (c) 2006 Japan Sports Association. All rights reserved